

## 電気バスが三条通りなどで走行実験



日本に3台しかない電気バス

先月の8～9日（土・日）の2日間に亘り、県と奈良市が共同して、奈良公園周辺の魅力向上による観光活性化と奈良市内の交通渋滞の改善を目指す交通社会実験を行ないました。

この実験は、電気バス2台を含めた周遊バスとレンタサイクルを連携させることで、自動車に拠らなくても移動の利便性を向上させることを目的とし、利用者へのアンケート調査と交通に与える影響などを調べるため主要な交差点で交通量調査を行ない、平城遷都1300年祭での交通施策にも反映されるもので、関係者はおおいに期待しています。

両日とも天候は良くはなかったが、「奈良公園ぐるっとバス」及び「なら・まちなかバス」の2つのコース共多くの観光客が利用し、盛況のうちに終了しました。

更に次の日（月）には、奈良市が奈良市中心市街地活性化基本計画に掲げている事業の1つである「奈良市における都市内交通システム調査」の一環として、電気バス1台を三条通りに走らせました。

活性化協議会からも、この電気バスに試乗しました。

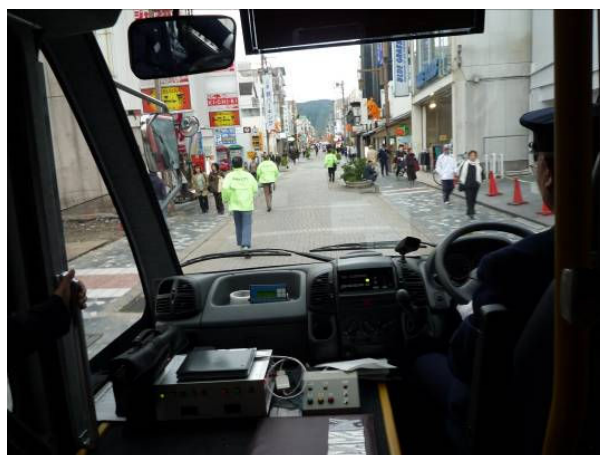
奈良市役所玄関前で待っていると、小豆色の超小型バスが音も無く静かに入ってきて、関係者が乗り込むと11席の座席はすぐに満席となった。

市役所を出たバスは時速20km位のゆっくりしたスピードで大宮通りを東へと走り、高架になったJR関西線の西にある信号を右折し、芝辻大森線を南へ走りJR奈良駅西口広場まで、ここで一旦停止。

ここからが正式の出発、西口広場を出たバスはホテル日航奈良西側の信号を右折、大型車通行禁止の「三条通り」に入ったバスは、奈良署との協議の上で、通行人等の安全を確保するため市職員3名を先導に付け、更に速度を10km以下に落としての徐行運転、普段は滅多に通らない大型車の通行に、通行人や店の人も何か？と、目を白黒させながら電気バスを眺め、観光客は急遽カメラなどで写真撮影をする姿も見かけました。

観光センター前交差点で信号が赤の為に停止、電気バスの為にエンジン音はもちろん振動も一切無し。

ちょうど、観光センターの前は「はじめは正倉院展 スタンプラリー」の抽選会場となっており観光客



三条通りを走る電気バス

や実行委員会の人々が手を振っていました。

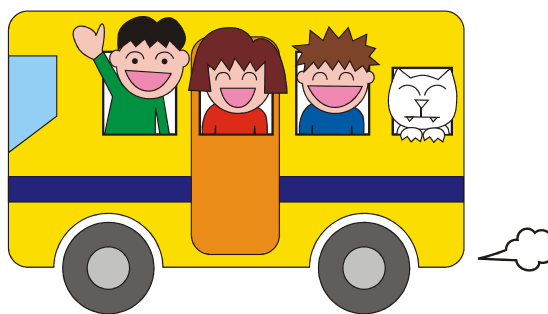
バスは右折して速度を再び 20km に上げて「やすらぎの道」を南へ走行、北風呂町交差点の信号を左折して「ならまち大通り」を東へと走り、御所馬場町で右折・左折の後、片原町の「名勝大乗院庭園」交差点信号を左折し国道 169 号線（天理線）を北へと走り、春日大社一の鳥居前を過ぎ県庁東交差点を左折し大宮通りを西進し、奈良県庁前・近鉄奈良駅前を通り、JR 関西線を潜ってすぐの交差点を左折して出発点の JR 奈良駅西口広場まで。

走行距離およそ 4 キロメートルを 30 分かけて一周。  
（電気バス運行ルート図）

今回の交通実験ルートは今年 7 月に開催、なら賑わい通信第 8 号で紹介した「交通対策・都市基盤整備合同部会」で議論したコミュニティバス運行の計画ルート案の起点を、東から西の広場に変えて実施ルートの検証実験を行なったものです。

使用したバスは、220 ボルトの蓄電池を搭載した定員 11 人乗りの小型バスで、熊谷ナンバーのついた早稲田大学所有の電気バスで充電に 8 時間を要して走行距離は約 50 キロメートルですが、改良されればもっと性能が向上するとのことでした。

今回の一連の交通実験では、現在日本に 3 台しか無い電気バスのうち、2 台が参加しました。

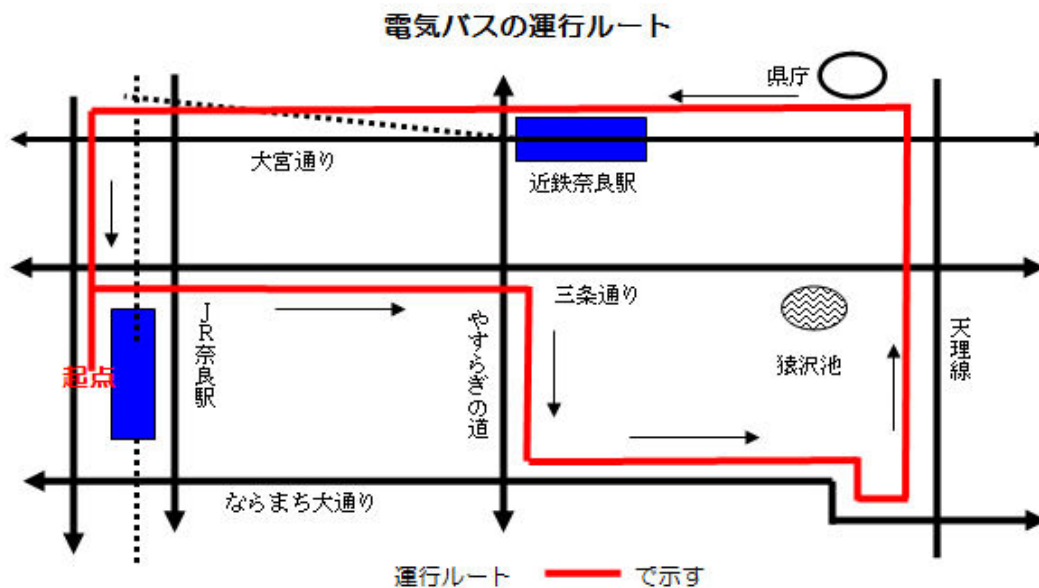


乗車しての感想ですが、走行ルートとしては、三条通りの拡幅で歩車分離が完全になり、歩行者の安全が確保されれば、コミュニティバスルートとして問題がないように思いました。

また、バスの乗り心地についても、路面の状態および車体のバネが硬い為、走行中ゴツゴツとした振動が少し気になったが概ね満足するものでした。

この後バスは、試乗者を乗せて奈良市役所へ戻り、実験のすべてを終了、50 分間の貴重な体験をさせて頂きました。

なお、8～9日の交通社会実験について、県は先月 27 日に結果速報を公表し、2 日間で周遊バスに 25 42 人の人が利用し、アンケートに対しても 9 割以上の人が『満足』と答えた。また、県庁東交差点の交通量は実験前と比べ 2 割減少、県庁東から東大寺大仏殿までの歩行者数も実験前と比べ 2・3 倍に増えていた。荒井知事は、「今回の交通社会実験はおおむね成功だった。」との談話を発表されています。



# 第2回まちづくりワークショップが開催されました！

11月21日（金）午後6時30分から、奈良商工会議所地下AB会議室において、前回に引き続いて第2回目のまちづくりワークショップが行われました。

今回のワークショップ参加者は、「まちのにぎわい部会（ファシリテーター 出口巴幸氏）」で8名、「観光のまちづくり部会（ファシリテーター 梅屋則夫氏）」で8名、併せて16名が出席され、また、奈良市より商工労政課の木野本課長がオブザーバーとして来ていただきました。

今回第2回目は、それぞれの部会とも前回10月17日（金）に開催された第1回まちづくりワークショップ参加者の発言趣旨をまとめた報告書が両部会で配布され、この報告書を基にしてまちづくりを進めていくための活発な意見交換が行われました。



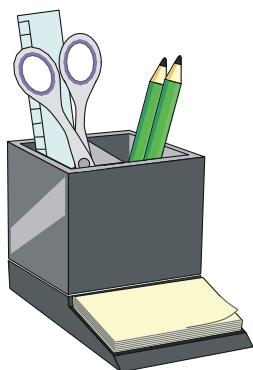
その後、両部会でそれぞれ複数のテーマに絞り込み、参加者各自がテーマごとに意見・提案等をカードに書き、台紙に貼り付けるという流れで進められました。



まちのにぎわい部会



観光のまちづくり部会



次回、第3回目のまちづくりワークショップは、来年1月16日（金）に開催することとなり、解決すべき課題の抽出と今後のあり方の取りまとめを中心に行われる予定となっています。



# 奈良市中心市街地活性化基本計画の「要約版パンフレット」が完成 希望者は活性化協議会へ

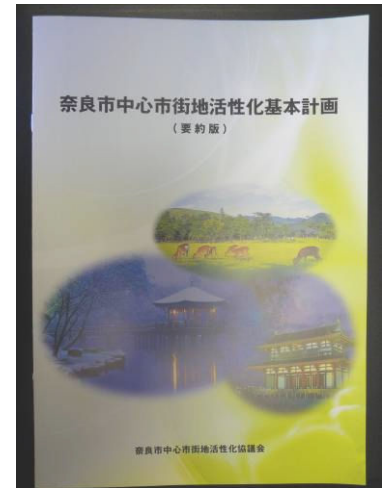
本年3月12日に、奈良市から内閣総理大臣に申請していた「奈良市中心市街地活性化基本計画」が認定を受けました。

計画期間は概ね5年として、平成24年度を目標年次としたもので、基本テーマを「歴史とロマンに抱かれたまほろばの都 奈良」と定め、①訪れたいなるまち ②歩きたいなるまち ③活力のあるまち の、3つを活性化の目標として、官民あわせて75の事業を行なう計画となっています。

この基本計画は、奈良市のホームページでも閲覧できますが、資料が膨大な為、活性化協議会は活性化基本計画を多くの方々にご理解頂けるよう奈良市の承認を得まして「要約版パンフレット」を作成しました。

ご希望の方は、奈良市中心市街地活性化協議会事務局までご連絡下さい。

なお、数に限りがありますので、無くなり次第終了させていただきます。



## 申し込み先

奈良市中心市街地活性化協議会事務局

〒630-8586

奈良市登大路町36-2（奈良商工会議所内）

TEL 0742-26-1666

FAX 0742-22-1180

E-mail : narachukatsujimu01@yahoo.co.jp

URL : <http://www.nara-cci.or.jp/chukatsu/>

## あなたの街の商店街活性化にお手伝いします

市街地活性化協議会は、基本計画区域内の23商店街等を対象に、今年度からの新規事業として「奈良市中心市街地商店街まちづくり推進事業」を創設しました。

この事業は、中心市街地活性化には不可欠な商店街の発展に、各商店街・市・協議会が一体となって、街の賑わいを取り戻すために企画したもので、商店街が抱えている課題などに対応すべく個々の商店街単位で、専門家等の派遣による研修会や相談会を行なうものです。

### 1) 実施期間

平成21年2月下旬頃まで

### 2) 実施場所

- ①あなたの商店街へ出向きます。
- ②奈良商工会議所の会議室。
- ③奈良マーチャントシードセンター。  
(いずれかご希望の場所で)

### 3) 実施内容

- ①ご相談希望の約1ヶ月前までに所定の用紙に必要事項を記載の上、活性化事務局に申し込み。但し、アドバイザーの日程、会場の都合などで希望日を調整させていただく場合もあります。
- ②アドバイザー及び会場の手配・申請は事務局でおこない、要する経費は協議会が負担します。
- ③相談時間は、2時間以内とします。
- ④本年度の実施回数は予算の都合上、各商店街1～2回程度とし全体で10回以内とさせていただきます。

この制度の活用を希望される商店街等（基本計画区域内に限る）がございましたら、活性化協議会までご連絡下さい。

【奈良市中心市街地活性化協議会事務局】

TEL 0742-26-1666

E-mail : narachukatsujimu01@yahoo.co.jp